

◆経済倶楽部講演会第4033回（6月28日）

リフレ戦記2・0

―アベノミクスの歴史・現状・展望

早稲田大学政治経済学術院教授

わかたべ
若田部 昌澄
まさずみ

- *「マネーサプライ論争」が出発点
- *10年前には出来ていた政策的基礎
- *「穏やかなインフレを目指す」政策
- *世にあふれ出たデフレ論議の特徴
- *リフレと代替思想を比較すると
- *政策に結びつけた高橋洋一氏
- *なぜ安倍首相は少数派に乗ったのか
- *経済政策に政治と経済学の二つの顔
- *ある種、出来すぎの第一段階
- *普通のインフレの世界に戻れるか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

安倍政権の経済政策、アベノミクスがたいへん話題になっております。今日は、リフレ派の中心のお一人でいらつしやる若田部先生においでいただきました。5月の連休明けから少しマーケットの状況も波乱含みとなっておりますが、かといって明確にそれを読み解いていただけるような方もあまりいない状況でして、ここはぜひ若田部先生に今の状況をどのようにとらえてほしいのか、お伺いしたいとみなさんお思いでしょう。実は本当に重要なことはもう少し中長期のお話でして、そこを含めて目からうろこの落ちるお話をしていただけではないかと思えます。それでは先生、よろしく願います。（拍手）

若田部 若田部でございます。よろしくお願いたします。

経済倶楽部でお話しさせていただくのも5回目ということですから、私が最初にお話しさせていただいたのがちょうど10年前で、そのときに出した本を増補版にして出版したのが10年後の今ということ。そのときの経済倶楽部での講演は私にとって一般向けとしては最初の講演会として、経済倶楽部にはたいへん感謝をしていると同時に、今後ともよろしくお願います、と申し上げさせていただきました。

今後どうなるかに関心の向きもあると思いますので、そのあたりを少しお話しできればと思っています。まず、題名を「リフレ戦記?」0 ―アベノミクスの歴史・現状・展望」と